

# 経営比較分析表

長野県 千曲市

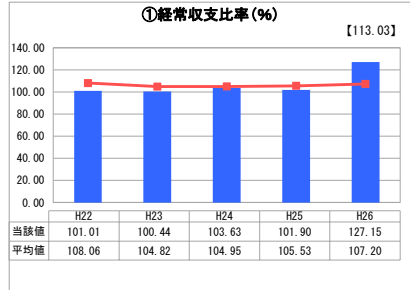
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A8
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	80.41	11.62	3,258

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
61,861	119.79	516.41
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
7,172	8.26	868.28

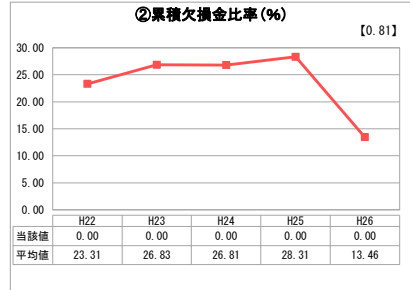
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

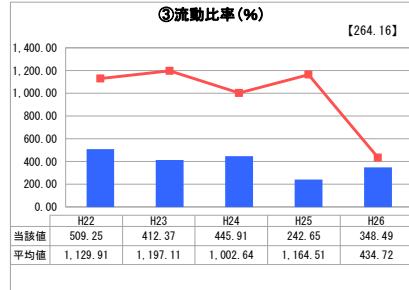
## 1. 経営の健全性・効率性



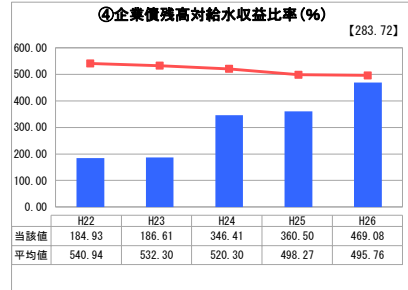
「経常損益」



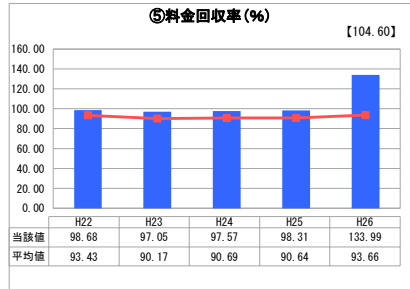
「累積欠損」



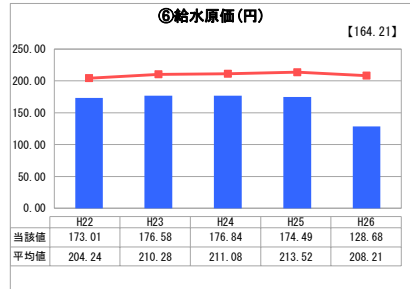
「支払能力」



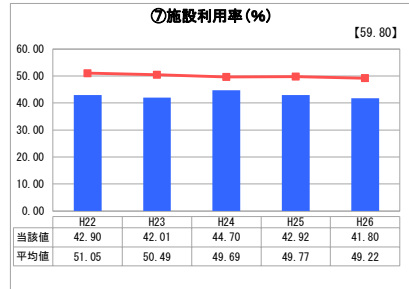
「債務残高」



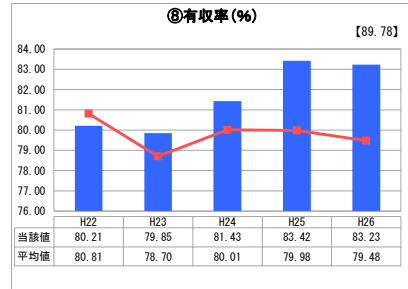
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

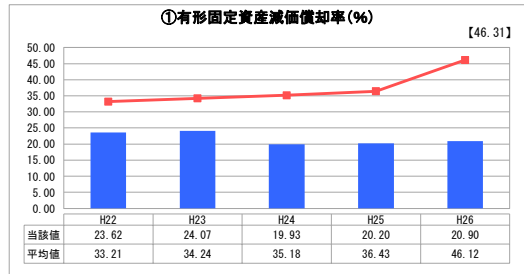


「施設の効率性」

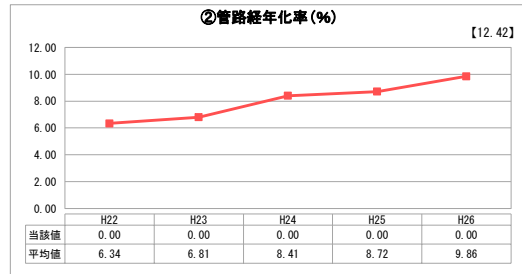


「供給した配水量の効率性」

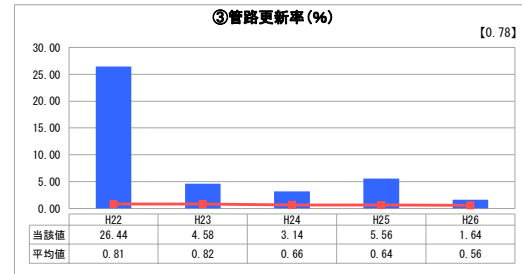
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支、累積欠損金比率などからも健全経営と言えるが、施設利用率が類似団体や全国平均よりも低く施設の遊休状態が考えられる。  
また、企業債残高が増え続けており、企業債水準の抑制に留意する必要がある。  
今後は、給水人口の減少や使用者の節水意識高揚などによる給水収益の減少、施設の更新事業や維持管理費の増加が見込まれ、経営改善に向けた取り組みが必要である。

### 2. 老朽化の状況について

過去に下水道整備に併せた管路整備が行われたため類似団体や全国平均よりも管路更新率などが高いが、年度ごとに更新事業費を平準化した更新計画を作成し老朽化対策に努める。

## 全体総括

給水人口の減少による収益の減少、さらには施設の老朽化に伴い更新事業や維持管理費が増大し、経営は厳しさを増している。  
老朽化した施設の更新事業や維持管理の効率化を図るため、周辺水道事業者で組織する「水道事業運営研究会」を活用しながら、施設統合や物品の共同購入などの各課題について調査・検討を進めるとともに、更なる経営改善に向けた取り組みが必要である。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。